

令和8年7月31日

長崎県住生活基本計画等改訂業務委託
プロポーザルの最優秀提案者の特定等について

このことについて、令和8年7月30日のプロポーザル審査委員会において、下記のとおり最優秀提案者を特定し、併せて次点を選出しました。

記

1. 最優秀提案者及び次点

○最優秀提案者 市浦 H&P・建友社設計共同企業体

○次点 ランドブレイン・三省建築研究所特定建設関連業務委託共同企業体

2. 委員長講評

○最優秀提案者

本県の課題を的確に捉え、現状を踏まえながら、自社の独自性や創意工夫が発揮された提案である。

今後、さらなる提案内容の精度向上を図るとともに、計画改訂過程において、積極的な提案を行い、10年後を見据えた実効性の高い計画改訂につながるよう、業務を行っていただきたい。

○次点

経験豊富な組織体制を有し、現状を的確に分析した提案であったが、空き家対策や居住支援の方策については、具体性の面で検討の余地が見られたため、次点となった。

3. 技術提案書の提出者数 2者

4. 審査委員の氏名 (敬称略)

委員会	氏 名	所 属
委員長	西平 能成	長崎県 土木部 次長
委 員	寺崎 隆雄	長崎県 総務部 財産活用室長
委 員	梅田 真由美	長崎県 地域振興部 地域づくり推進課長
委 員	川村 喜実	長崎県 福祉保健部 福祉保健課長
委 員	波江野 大輔	長崎県 土木部 建築課長
委 員	野口 孝	長崎県 土木部 住宅課長